

令和六年度

岡山県立中学校及び岡山県立中等教育学校

適性検査Ⅱ

【注意】

- ・ この検査は、文章や資料を読んで、太字で書かれた課題に対して、答えやあなたの考えなどをかく検査です。課題ごとに、それぞれ指定された場所にかきましよう。
- ・ 検査用紙は、表紙（この用紙）をのぞいて三枚^{まい}あります。指示があるまで、下の検査用紙を見てはいけません。
- ・ 「始め」の合図があつてから、検査用紙の枚数を確かめ、三枚とも指定された場所に受検番号を記入しましょう。
- ・ 検査用紙の枚数が足りなかったり、やぶれていたたり、印刷のわるいところがあつたりした場合は、手をあげて先生に知らせましよう。
- ・ 検査用紙の※

※

には、何もかいてはいけません。
- ・ この検査の時間は、四十五分間です。
- ・ 表紙（この用紙）と検査用紙は、持ち帰つてはいけません。

※

3※

2※

1※

※

課題1 太郎さんの学級では、自分の好きな本をしょうかいする活動を行うことにしています。次の文章は、太郎さんの「しょうかいしたい本の一部」です。太郎さんのグループでは、この本の「しょうかいカード」を作成して、学級の他の友だちに伝えたところについて話し合っています。これらを読んで、(1)から(3)に答えましょう。

【しょうかいしたい本の一部】

コオロギとムカデがこんな会話をしていたそうです。
 「ムカデさんは個性的ですよね」
 コオロギにそう言われ、ムカデはビックリして聞き返します。
 「えっ、僕が個性的ですって？」
 「だって、そんなにたくさんある脚を全部使って歩いているわけでしょう、それこそがムカデさんらしさですよ。それにしても、たくさんさんの脚をどんな順番でどのように動かして歩くんですか？」
 そう聞かれたムカデは、はて、僕は自分の脚をどのように動かしているんだっけ、と考えこんでしまいました。そして考えすぎてわからなくなって、動けなくなってしまいました。
 若い人を見てみると、同じようなことを感じることがあります。自分らしさって何だろう、自分の個性って何だろうと考えすぎてしまうのです。

自分の個性について考えれば考えるほど身動きがとれなくなってしまふ。
 いまの世の中には「自分らしく生きなければならぬ」「自分の個性を發揮できるような仕事を選ばなければならない」といった妙な圧力があるように思います。私はこれを「自分らしさの呪縛」と呼んでいます。

仕事を選ぶときにも「これが本当に自分らしい仕事なのか」という考えにとらわれてしまつて、何をしたいかわからない。そんな悩みを聞くこともあります。
 もちろん自分の個性を理解した上で、それに合った仕事に就くことができればいいかもしれませんが、でも仕事というのは、やってみなければわからないところがあります。1年、2年と続けていくうちに、この仕事は好きかもしれないな、これが天職かもしれないと思いはじめるとはよくあります。

それに人間は一生成長していく生き物です。ある時点の自分らしさに基づいて仕事を決めようとしても、仕事に磨かれたり、いろいろな人と出会うことで自分らしさは変化していきます。
 私が皆さんにお伝えしたいことは、自分らしさということに焦って探し求めなくてもいいということです。たとえ人と同じことをやっても自然とじみ出てくるもの、それが個性であり、自分らしさです。
 あなたがどんな生き方をしようが、どんな仕事を選ぼうが、自然に立ち表れてくるもの、それがあなたらしさであり、あなたの個性なのです。

*1 妙な…不思議な、変な。

*2 呪縛…心理的に人の心の自由を失わせること。

【話し合っの様子の一部】

花子 しょうかいカードの——線部A「ムカデのたとえ」って何のことかわかるかな。何をたとえているか説明した方がいいかもしれないね。

次郎 「A」の姿が、動けなくなっているムカデの姿にたとえられていること」を伝えたら、この本を読みたくなるかもしれないね。

太郎 タイトルを『自分らしさ』とは？』としたけれどどうかな。私は、これから天職を見つけるには自分らしさがカギとなると思ったからそうしたんだ。

花子 なるほど。天職って天から与えられた職・仕事のことだね。「仕事を選ぶとき、自分らしい仕事かどうかかわからなくても、B」によって、自分らしさが見つかることもある」という筆者の考えを伝えてみてはどうかな。

次郎 そうだね。ところで、どうして——線部イ「『自分らしさ』についてなやんでいる人へのヒントになる」と思ったのかな。

太郎 個性について、「いまの世の中の考え方」と「筆者が伝えたいこと」とでは、対照的になっているから、なやみを解決するきっかけになると思ったんだ。

花子 いまの世の中では、個性はC」と考えているのに、筆者は、個性をD」も」と表しているよね。

太郎 そうか。花子さんの意見を本をしょうかいするときには必ず伝えよう。

【しょうかいカード】



野口嘉則 「自分を好きになれない君へ」



●おすすめポイント

- ① コオロギと(ア)ムカデのたとえがあってわかりやすい。
- ② (イ)「自分らしさ」についてなやんでいる人へのヒントになる。

(1) 読書好きな人のことを「本の虫」ということがあります。このように「虫」の字を使った人の様子や感情をたとえている表現やことわざ・慣用語のうち、「虫」で終わるもの、「虫」から始まるものを一つずつ書きまじょう。ただし、「本の虫」はのぞきまじょう。

受検 番号	
----------	--

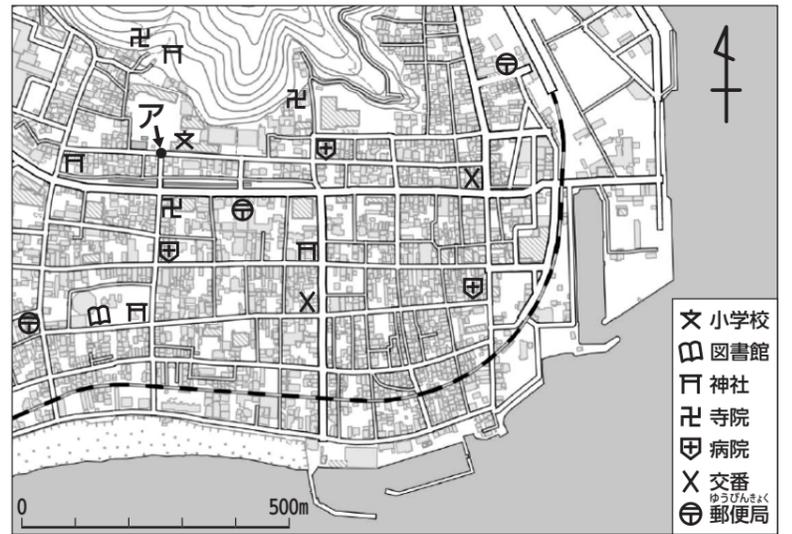
3※

課題3 太郎さんたちは、地域の産業について、調べ学習を行っています。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

太郎：市役所のホームページには、漁業がこの地域を代表する産業だとして紹介されていたけれど、ほかに情報を集めるよい方法はないかな。

花子：漁師さんに直接、話を聞いてみてはどうか。

次郎：漁師さんに話を聞く前に、図書館で情報を集めて、漁師さんに質問することを考えようよ。私が地図を使って図書館まで案内するよ。



(国土地理院地図をもとに一部改変して作成)

(1) あなたが次郎さんなら、どのように道案内しますか。次の条件をふまえて、右の地図中のアから図書館まで歩くコースを文章の書き出しの言葉に続けて書きましょう。

- 〈条件〉○進む方向は、方位を使って示すこと。また、進む方向が変わるときは、目印になる地図記号の建物の名前と進む方位を示すこと。
○進むきよりは、地図中の縮尺を使って、百の位までのがい数で示すこと。

※

地図中のアから

太郎：集めた情報をもとに、漁師さんに質問したから、たくさん話を聞くことができたね。

花子：漁師さんの「海と森林は深い関係がある」という言葉が印象に残ったよ。

次郎：図書館で見つけた資料1と資料2は、漁師さんの言葉とつながっているようだね。

(2) 海と森林の関係について、資料1と資料2から読み取ったことをそれぞれ書きましょう。また、資料1と資料2のそれぞれから読み取ったことをふまえて、森林が漁業に与えるえいきょうについて、あなたの考えを書きましょう。

※

資料1から読み取ったこと

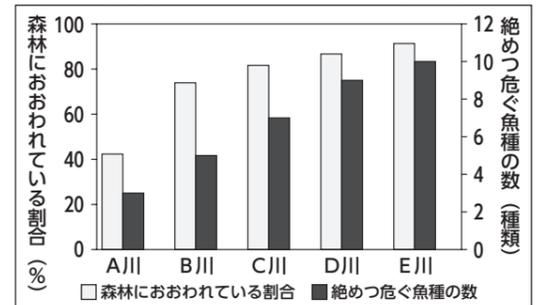
※

資料2から読み取ったこと

※

森林が漁業に与えるえいきょう

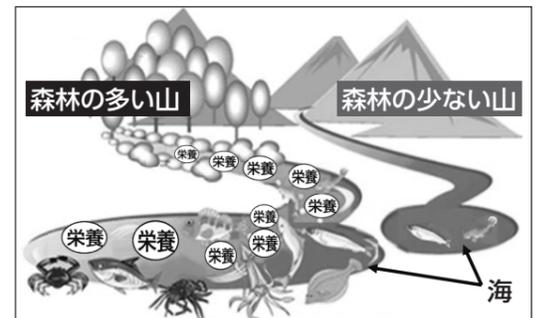
資料1 川ごとの河口域^{※1}に生息している絶めつ危ぐ魚種の数^{※2}と流域^{※3}が森林におおわれている割合



(国立環境研究所資料をもとに作成)

- ※1 河口域…川が海につながっている地域
- ※2 絶めつ危ぐ魚種の数…地球上からいなくなる危険性が高い魚の種類の数
- ※3 流域…川に水が流れこむはん囲

資料2



(海洋政策研究所資料をもとに作成)

太郎：新聞記事(資料3)に、森林を守るための森林環境税^{かんきょう}のことがのっていたね。

花子：森林を守るには、教科書で学習した資料4の状況も考えておく必要があるね。

次郎：森林環境税で集めたお金をどのように使うと森林を守ることにつながるかな。

資料3 新聞記事

森林環境税
使い道が問われる

森林を守るための新しい税が2024年度から導入される。一定の収入がある人を対象に、1人当たり年間千円をその他の税とあわせて集める「森林環境税」である。導入の背景の一つには、森林の手入れが行き届いていないことを原因とした土砂災害が相次いでいることがある。各市町村の森林整備にあてる財源を安定的に確保し、対策を急ぐべきだと判断した。

森林を守るために有効な解決策は何か、長期的な視野に立って知恵を絞りた

※財源…お金のこと

(3) 資料3の森林環境税で集めたお金をどのようなことに使い、その使い方によって何ができるようになると考えますか。資料4をふまえながら、具体的にあなたの考えを書きましょう。

※

資料4 日本国内の林業で働く人の数とそのうち65才以上がしめる割合

	林業で働く人の数	65才以上の割合
1985年	126,343人	10%
1995年	81,564人	23%
2005年	52,173人	27%

(林野庁資料をもとに作成)